



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ROTOBO

2026年(令和8年)4月25日号 No.2022

目次

■ 2025～2026年のロシア・NIS諸国の経済(下)	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2026年5月号のご案内	11
■ 統計速報	12
2026年1～2月のロシアの貿易	12
■ トピックス	13
ロシアとインドネシア、エネルギー協力強化	13
ロシア、アゼルバイジャン旅客機墜落巡り賠償で合意	13
小池都知事がカザフスタン訪問へ	13
米、ロシア産原油購入を再び容認	13
OURが運送分野でウズベキスタンと人材育成協力拡大	13
口朝初の道路橋が接続	14
EU、対ウクライナ融資と新たな対口制裁を承認	14

2025～2026年のロシア・NIS諸国の経済(下)

はじめに

前回に引き続き、CIS統計委員会および各国統計局発表のデータ等にもとづき、2025年の経済実績を中心にNIS諸国の最新の経済情勢についてのレビューを行う。

今回は、ロシア・NIS全般、ロシア、ウクライナ、ベラルーシ、モルドバについての解説をお届けした。今号では中央アジア諸国(カザフスタン、キルギス、ウズベキスタン、トルクメニスタン、タジキスタン)、南コーカサス諸国(アゼルバイジャン、アルメニア、ジョージア)、モンゴルを扱う。

なお、前号で掲載した主要経済指標について、最新の数字に更新したので、改めて掲載する。

カザフスタン： 経済は堅調、3年でデジタル国家化を目指す

2025年のカザフスタン経済は、前年のGDP対前年比4.8%増から6.5%増へと成長が加速した。牽引したのは石油の増産と政府による活発な財政投資で、2025年の石油生産は過去最高の9,938万t(前年比13.3%増)に達し、この結果、鉱工業生産の増加率は前年の3.2%から7.5%へ大きく伸び幅を広げた。過去数年の傾向を引き継ぎGDP部門別で最大の成長を示したのは運輸・倉庫(20.4%増)、次いで建設(15.9%増)であり、前者については石油生産増加に伴う関連部門を含